



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018～19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



インスピレーションになろう

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 7月第 5 例会 (2018.7.31) No.3243

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様こんにちは。先週は、前橋RCとの合同納涼例会を開催いたしました。とても和やか雰囲気のもと、皆様とともに、涼しさを味わい、少しばかり暑さを忘れることができましたと思います。合同納涼例会を企画運営してくださいました親睦委員会の岡村健吉委員長をはじめ、親睦委員の皆様、ありがとうございました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

さて、本日は、大韓民国新潟総領事館総領事の鄭美愛さんをゲストスピーカーとしてお迎えいたします。既にご案内のとおり、鄭美愛さんは、筑波大学の大学院に在学中、ロータリーの米山記念奨学生でした。そこで、本日は、ロータリー米山記念奨学会について少しお話をさせていただきます。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し、支援する民間の奨学団体であり、国際留学に関しては日本最大の民間団体です。その目的は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することにあります。年間の奨学生の採用数は780人(枠)、奨学事業の事業費は約13億円(2016-2017年度決算、うち奨学金は約11億円)であり、これまでに支援してきた奨学生数は、2017年7月現在、累計で19,808人です。奨学生の出身国は、世界125の国と地域に及んでおり、国別では、中国、韓国、台湾の順です。気になる支給額は、大学生には月額10万円(年額120万円)、大学院生には月額14万円(年額168万円)が最長で2年間支給されています。かつては奨学生が1000名を超えた年もありましたが、寄付金の減少にともない、2013年には700名になりました。近年は、再び増加に転じ、2018年は820名を予定しているとのことです。第2560地区に目を転じてみますと、今年度、第2560地区では27名の奨学生を受け入れています。当クラブは、モンゴルからの留学生ソド・チャンドマニチメグさんを奨学生として受け入れ、世話クラブとして活動しております。

ところで、外国人留学生の数は年々増加しており、新潟市内に私費で留学しているいわゆる私費留学生の数は、2017年度は1000人を突破し、1013人となり、1996年度の176人に比べ6倍近く増えたとのことです。報道によりますと、私費留学生の多くはアルバイトをして生計を維持しているとのことです。新潟市内に留学している私費留学生は、将来、母国と新潟との懸け橋となって活躍してくれる可能性のある金の卵といえます。鄭美愛さんのように、国レベルで懸け橋になってくれる人材も大切ですが、地域レベルで懸け橋になってくれる人材も大切ではないかと思えます。私たち、地域のロータリアンとしては、米山記念奨学会ではカバーしきれない、私たちの身近な地域で暮らす留学生への支援を検討しても良いのかもかもしれません。例えば、前橋ロータリークラブには、外国人の留学生を支援するための独自の奨学金制度があります。この奨学金制度は、前橋ロータリークラブの創立45周年を記念しての事業であり、毎年3名の奨学生を選考し、月額3万円(1名当たり年額36万円)の奨学金を支給しています。

当クラブは、創立50周年を記念して、青少年育成基金を設立しました。この事業は当クラブ独自の事業として存在価値を發揮し、現在まで続いています。他方で、今後の地域社会を考えたとき、地域においても外国との交流はますます必要になってくるはずであり、そのための人的基盤を整備するために、外国人留学生を育成支援することは時機に適切ではないかと思われます。新潟ロータリークラブは、人的・物的リソースを有しておりますので、私たちにできることはないのか、今後、創立80周年の記念事業を検討するにあたり、皆様と問題意識を共有できればと考えております。また、日本国内の貧困という社会問題も見過ごせないと思えます。日本国内における苦学生への支援についても、その実情を把握したうえで、必要な支援を検討していく必要があるのではないかと思います。この点についても、皆様と問題意識を共有できればと考えております。

本日は、鄭美愛さんをお迎えするにあたり、米山記念奨学制度や留学生支援についてお話をさせていただきました。本日の鄭美愛さんのスピーチを契機に新潟における日韓の交流がますます活性化することを祈念し、会長の挨拶とさせていただきます。

(3) ビジターの紹介

・若槻八十彦君(三条 RC)

(4) 新会員紹介



税理士法人 新潟会計アシスト
代表社員 内山 博之君
ご紹介 内田 直紀君
所属委員会 IA委員会

この度、ご縁ありまして、若槻会長と内田直紀さんのご紹介を受け入会させていただきました税理士法人新潟会計アシストの内山博之です。地元新潟で育ち、税理士業界で15年勤めた後、2006年4月に税理士法人を創業し13年目を迎えました。職員15名と共に、新潟の中小企業支援のため真のビジネスパートナーとして信頼されるよう日々尽力しております。JC卒業以来暫く地域貢献活動はしていませんでしたが、新潟ロータリークラブへの入会をきっかけに、地元新潟の地域社会に少しでも貢献できればという思いでおります。まだまだ若輩者でございますので、ご指導の程よろしく願いいたします。

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(池田 修人委員)

新田 幸壽君 宇尾野 隆君

青少年育成基金寄付発表(田中堅一郎委員長)

本間 彊君 田中堅一郎君

(6) ニコニコボックス紹介(武田 直己副委員長)

・若槻 八十彦君(三条RC)新潟ロータリークラブ様に初めてメーキャップさせて頂きました。よろしくお願い致します。ジョン・ミエ様の卓話を楽しみにしております。

・白勢 仁士君、高橋 康隆君 夏の甲子園(今日は100回記念だそうです。)に母校の慶応高校が神奈川代表で出場することになりました。優勝を祈念して。

・内田 直紀君 新潟会計アシスト 内山博之さんのご入会にニコニコします！

・塚田 正幸君 今日の例会でピアノの濱田さんが私の大好きな曲「思い出の渚」「イパネマの娘」を弾いていました。心ウキウキです。濱田さんありがとう！

(7) 幹事報告(大澤 強)

・青少年育成基金を贈呈したチビユニティー代表より、世界大会参加400チーム中3位入賞した旨の礼状を頂きました。

・地区 RA 事業(8月18・19日 三条市にて開催)案内

・例会後、4階「雪の間」で新会員オリエンテーションを開催致します。

・8月よりロータリーレートが1ドル112円に変更になります。

(8) 卓話「未来志向の韓日関係のため」

駐新潟大韓民国総領事館 総領事 鄭 美愛氏



(9) 7月31日例会の出席率 82.76%

会員数 88名(出席免除会員 7名)

出席者 72名(出席免除会員4名を含む)

(2週間前メーク後 83.33%)

8月14日は規定休会です。

次回の例会は8月21日

みらいず works の卓話を予定しております。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>